



平成27年8月にご入居された
鹿児島県日置市伊集院町のS邸
をお尋ねして、ご主人と奥様にお話を伺ってまいりました。
S邸は小学生のお嬢様とご夫婦の3人に猫一匹の住宅でした。
「今のところは、なんの問題もありません。静かな環境で、満足しています。」とご主人。
以前は、集合住宅でお暮らしとのことで、その違いについて奥様にお聞きすると、

もうすぐ一年になる住宅についてお尋ねすると、

もうすぐ1年経過するS邸は、植栽も根付き落ち着きのある住宅でした。

お施主様S邸（3人家族）「建設地 鹿児島県日置市伊集院町」

お施主様ご訪問

「松下孝建設」のお施主様にお聞きしました。

「以前の住宅では、冬になると結露とカビで悩まされてきました。全く結露とカビの心配が無いので、驚いています。それに、エアコンの暖房は経験がなかったものですが、寒さと電気料金が気になっていたのですが、それも全く心配ありませんでした。住宅全体がエアコン1台で暖かく、子供の勉強机を2階の間仕切りの無い、吹きぬけの脇に設置しているの、寒かったらどうしようと思配していましたが、全く問題ありませんでした。」と奥様。
「心配していた光熱費も、集合住宅で暮らしていたときよりも大幅に安くなりました。住宅性能の事など全く考えていなかったのですが、松下建設を選択して本当に良かったです。松下孝建設については、何も知らないで星ヶ峯の鹿児島地元建設会社が合同で建てた展示場を見学に行ったのですが、他社と比較すると、何かが違うような感じがしましたが、それが肌感覚で感じた性能の違いだったのかも知れません。建てのなら松下孝建設に思っていました。妻と娘の印象も良かったもので営業の



方にその旨を伝えると、改めて施工現場に案内され、性能の大切さや、高性能にした場合のメリット、特に省エネルギーについて説明していただきました。あと一月で1年を迎えますが、夏どの様に成るのか今から楽しみです。」とご主人。



ダイニング・キッチン



和室と猫ハウス



S邸のご家族



「冬の乾燥が気になりましたが、以前は結露とカビで苦労しました。全く逆になってしまいました。点検に来られた工務の方にお聞きすると、多湿よりも乾燥の方が対処出来る事、どうしても気になるときは、加湿器で最も最適だと思う湿度まで湿度調整をしてください。湿度を下げるよりも湿度を上げる方が結露やカビのコントロールが可能なことを教えてもらいました。室内の湿度は、相対湿度でこ

お住まいになって、何か問題点はありませんか？

「先見性が大切だと思います。住宅は一生一度の大きな買い物と言われますが「住宅は3度建て無ければ本物には当たらない」という諺もあります。一般の庶民には3度は無理ですから、徹底的に調べる必要があります。新築すれば、最新の住宅だから、全てお任せでも、素晴らしい住宅が建つものと信じていましたが、住宅は住宅会社によって全く性能も寿命も異なることを知らされました。松下孝建設の住宅は、100年の寿命で建てていると聞きました。地球温暖化の今日では、まだまだ住宅の性能は上がっていき、今年からはZEH（ゼッチ（ゼロ・エネルギー・ハウス））も開始され、2050年までには、新築住宅の半分以上がZEHになるそうです。我が家も太陽光発電の搭載も考えましたが「2009年の余剰電力買取制度も2年後には、家庭用の買い取りが終了し、順次10年の機材が切れます。それと共に機材も安くなり、性能も良くなるはず。いま無理して安くしか買取って貰えない電気を作るよりも、自家消費できる、適切なW数の太陽光発電装置を選択した方が良いと思います。そのために屋根だけは、太陽光を載せられるように南面に傾斜させたらどうですか？松下孝建設の住宅は、北海道基準の住宅性能で建てられていますから、太陽光発電を載せれば、いつでもZEHになります。」という営業の方の提案を受けて、屋根を南傾斜にしました。この様な将来に対する、有意義な提案ができる建設会社を選ばべきだと思います。」とご主人。
ありがとうございました。

これからお建てる方に何かアドバイスを？



ハイブリッド・エコ・ハートQ「特別優秀賞」・「優秀企業賞」W受賞!!

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」主催(財)日本地域開発センター[主務官庁:国土交通省]において、松下孝建設のハイブリッド・エコ・ハートQが、「特別優秀賞」及び「優秀企業賞」を受賞しました。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」に変更になって以来、2013年度の大賞を含め連続4度のダブル受賞となりました。

偏にお施主様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」を継承した国土交通省の外郭団体である（一般財）地域開発センターが主催する住宅のエネルギー消費削減を目指した住宅性能に関する審査会です。



賢い住まいづくりセミナー 2016

《松下孝建設・受賞 記念講演会》

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013年 大賞受賞

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2015年 特別優秀賞・優秀企業賞

講師

東京大学大学院 工学系研究科

建築学専攻准教授 前 真之 先生

講演内容

快適・健康・省エネがずっと続くエコハウス

安心して建てられる地元のスーパー工務店を見つけよう

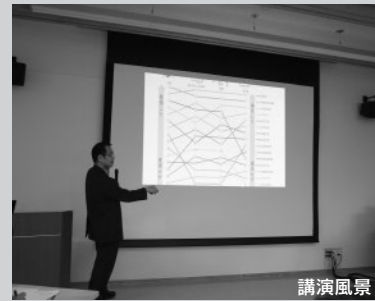
＜講演内容のご紹介＞

快適だと言われ続けてきた「エコハウス」のウソ？

- エコハウスとして紹介される住宅は巷にあふれており、多くは建築雑誌のグラビアを飾るような美しく開放的な住まいです。
- 明るい光が差し込む大窓や、爽やかな吹き抜けの大空間はエコハウスの定石とさえいえるでしょう。写真映えを考え抜いた設計において、こうした目を楽しませる高いデザイン性は「定番」です。
- 忘れてならないのが、これらの「エコハウス」が実質的に地球環境に優しく、快適な住み心地を実現するとは限らないということです。
- 建築環境の研究者として、全国各地でさまざまな住宅のエネルギー調査を進めてくなかで多く出会ったのは、快適性とはかけ離れた人が住むのにあまりに不便な「エコハウス」でした。
- 窓からの熱損失は壁・天井・床などに比べて非常に大きく、大開口がある室内は冬場の夜間など、とにかく冷え

込みます。その一方で快晴の昼間に日が差し込むと、室温は一気に跳ね上がり、真冬でも35℃を超えるようなオーバーヒートが頻繁に起こります。本物の住宅性能とは何か、安心して建てられる地元のスーパー工務店を見つけることです。

- 東京大学大学院・前真之准教授のお話は現在発売中の「エコハウスのウソ」増補版をベースにして、熱（赤外線）カメラのふんだんな映像で、通常では目に出来ない住宅性能の真実を解明して頂きました。その内容を抜粋して裏面を構成致しましたので、ご覧頂ければ幸いです。

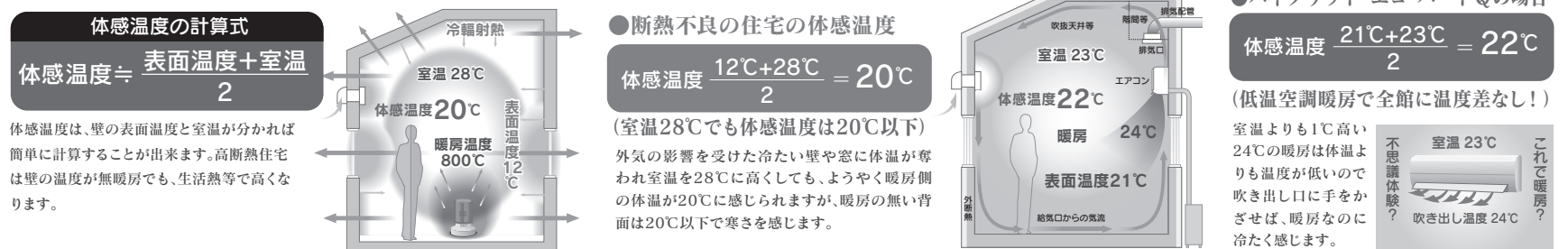


講演風景



会場風景

■快適性は、体感温度で決まる。低温で快適な体感温度は、必然的に省エネの実現になる(内容例)！



天井・床の上下温度差が無くなると、エアコン暖房も抵抗なく下まで降りて来ます。これが、断熱・気密・換気性能の成果です。夏もエアコンの冷房が効果的に効きます。

「賢い住まいづくりセミナー 2016」資料のご請求は 0120-079-089

HP 松下孝建設 検索